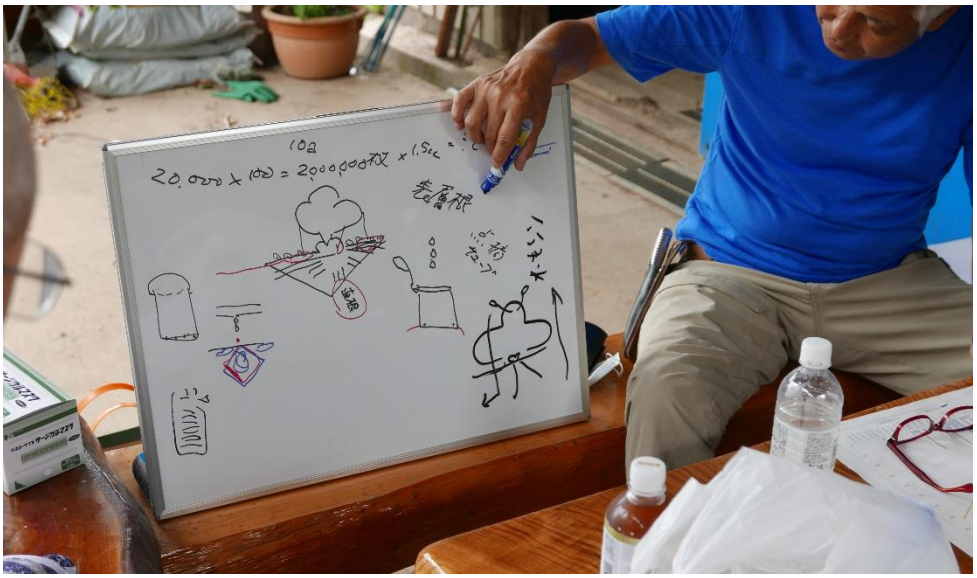
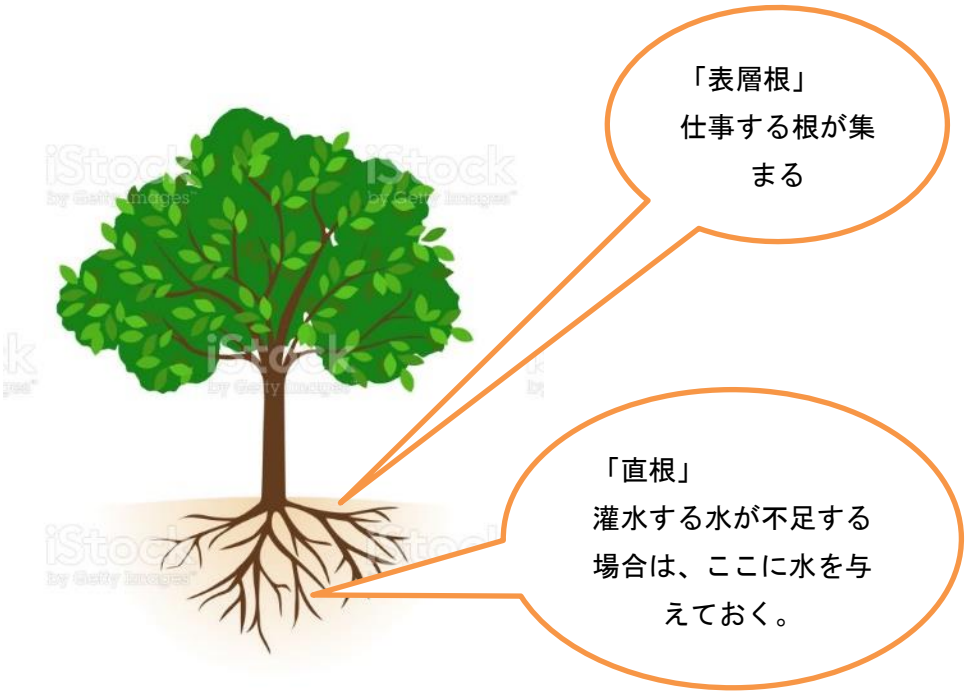
環境配慮型農業実践塾　報告書

日　時	令和２年８月２７日（木）９：００～
場　所	からたち園地（水俣市袋）→湯治山園地（芦北町湯浦）
参加者	管内果樹農家等　（水俣７名、芦北７名）
概　要	① 座学学習 ・広島での灌水について 雨が降らないため、朝・夕の灌水が必要なのに、作業員が夕方しか水やりしてない。野菜、柑橘がしおれている。 雨が降る場合は、夕方だけの灌水で良いが、雨が降らない時は様子を見ながら夕方以外の時間帯にも水やりを行う。 

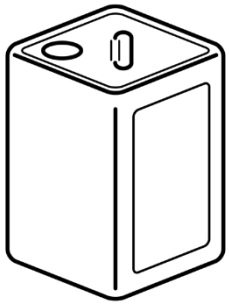
・配布資料①について（積算温度＆降水量）
有効降水量は３０ｍｌと言われている。
８月１１日に１０ｍｌ程度の雨が降っているが、少し足りない。
追加で灌水する。

・配布資料②について（推移）
平成６年は、２ケ月間雨が降らなかった年。
※さじょう＝みかんの薄皮の中にあるつぶつぶの果肉
早い時期に「酸」を下げておくと、収穫時期に甘くなる。
水俣は、タイミングよく雨が降っている。
　温州みかん：７月下旬～８月上旬
　甘夏：８月下旬～９月上旬
１０日間に１回雨が降るのが理想。
他のエリアに勝てる商品ができる。

Ｑ．１０ａ当たりの蒸散量は？
Ａ．１枚の葉から１．５ｃｃ蒸散する。
　　２万枚の葉／成木×１００本＝３ｔ
ハウスでは１０日ごとに灌水するため、１回につき３０ｔの水が必要となる。
この時期は、草刈や摘果より灌水に気を付ける。
なお、灌水は下を重点的に行う。



・自作の灌水道具について（点滴灌水）

① 一斗缶 五寸釘で穴をあける これを満タンにして、少しずつ灌水する。（点滴している間、他の作業ができる。）	
② 肥料袋 袋の下２ケ所をハサミで切る。 袋に水を入れて、樹に吊るしておく。 穴を小さくしておいて、ゆっくり灌水する。	
③ 塩化ビニルのホース 2.2mmの穴をあける。 （竹串サイズ） 不要な部分は竹串でふさぐ。	

② 園地視察

～からたち園地～

	ソルゴ 防風林の代わりに、育てている品種。４月に種を植えて５月に現在の場所へ移植。３ケ月で人の高さまで成長している。

甘夏
３年目の苗木。
たくさん実を付け過ぎていこすれて傷がついている実は、摘果する。

甘夏の苗木
　右：４年目の樹
　左：３年目の樹
育成の大きな違いが確認される。

はるか
　糖度８
　十分食べられる甘さ。

レモン
　３月に高接ぎした樹が枯れた。（４ケ所のうち２ケ所。）
幹には水分が無くなっている。

～女島園地→湯治山園地

	デコポン 　密植となっていたハウスのうち、伐採したエリアと例年どおりの剪定をしたエリアで実の付き方が異なっている。 　伐採したエリアでは、樹全体に大きな実がついている。 　例年どおりのエリアでは、樹の上の方に小さな実がついている。
	万年草 　保湿性の高い雑草
	デコポン 　先月、１５０個摘果。 　今月も１５０個摘果。 　来月の実の付き方を確認する。
	道法レモン 　先端にたくさん実がついている。